

大学院入試説明資料（Ⅱ期入試向け）
2021年12月1日



名古屋大学大学院 環境学研究科

Nagoya University, Graduate School of Environmental Studies

都市環境学専攻 持続発展学コース

Department of Environmental Engineering and Architecture, Sustainable Development Course

環境学研究科とは（アドミッション・ポリシー）

目標

環境学を支える自然，都市，社会を対象とした伝統的な専門分野を深化させるとともに，専門分野の融合により環境問題解決への道筋を示し，さらに，その成果を専門分野の発展に還元させる

3つの専攻

地球環境科学専攻（理学系）

惑星としての地球とその表層の大気・水圏の性状，動態，進化を探究する

都市環境学専攻（工学系）

都市の社会基盤，建築物などの人工環境を創造し，水・緑・土壌などの自然環境との調和を図る

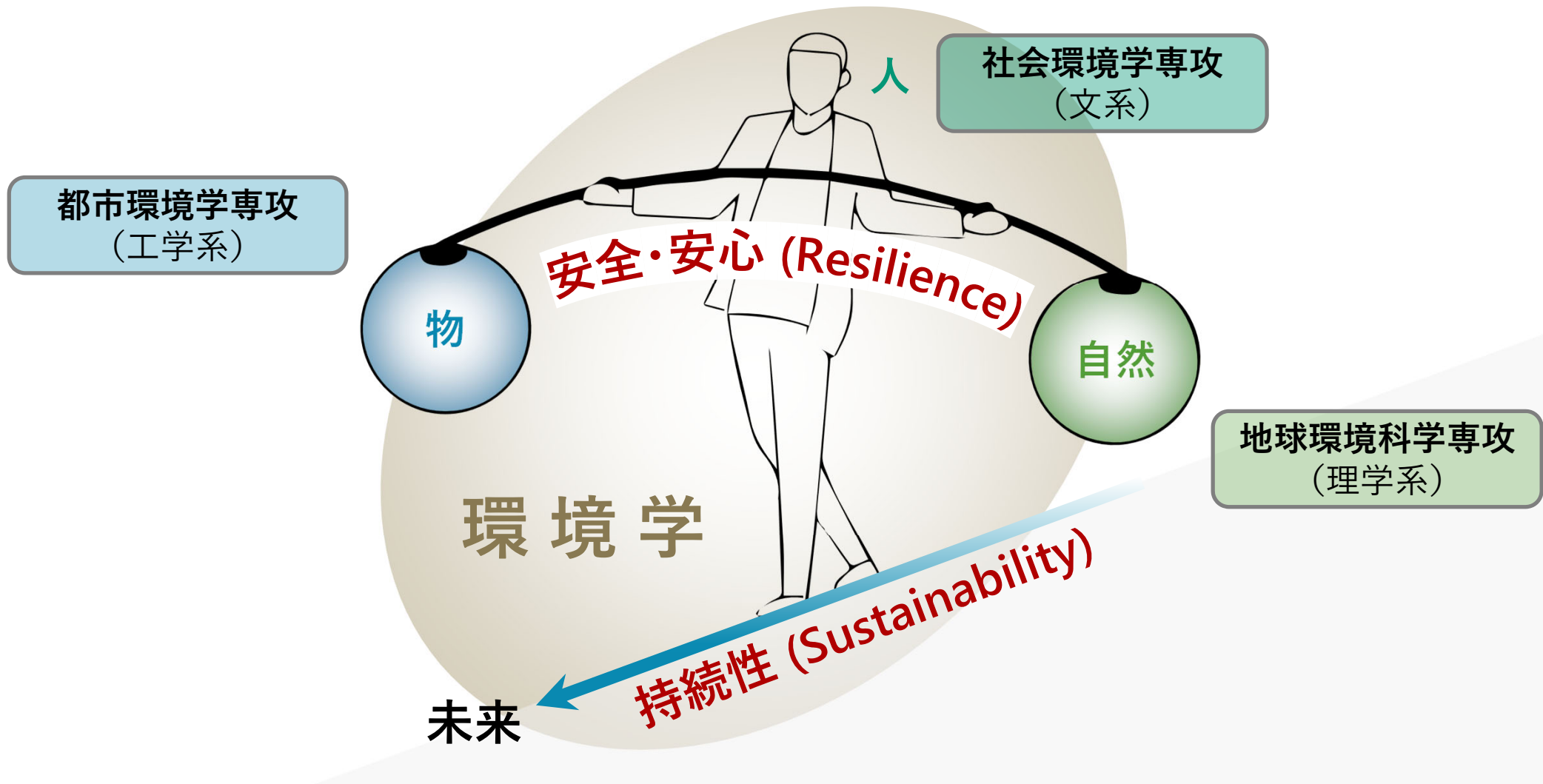
社会環境学専攻（文系）

人間の行動とそれを取り巻く社会環境との関連を考究し，環境政策を提言する

「文理融合」

文理にまたがる専攻間の連携によって，持続可能かつ安全・安心な社会の実現をめざす環境学の研究・教育を実践する

環境学研究科の2つの梁 (Collaboration Beams)



都市環境学専攻の構成

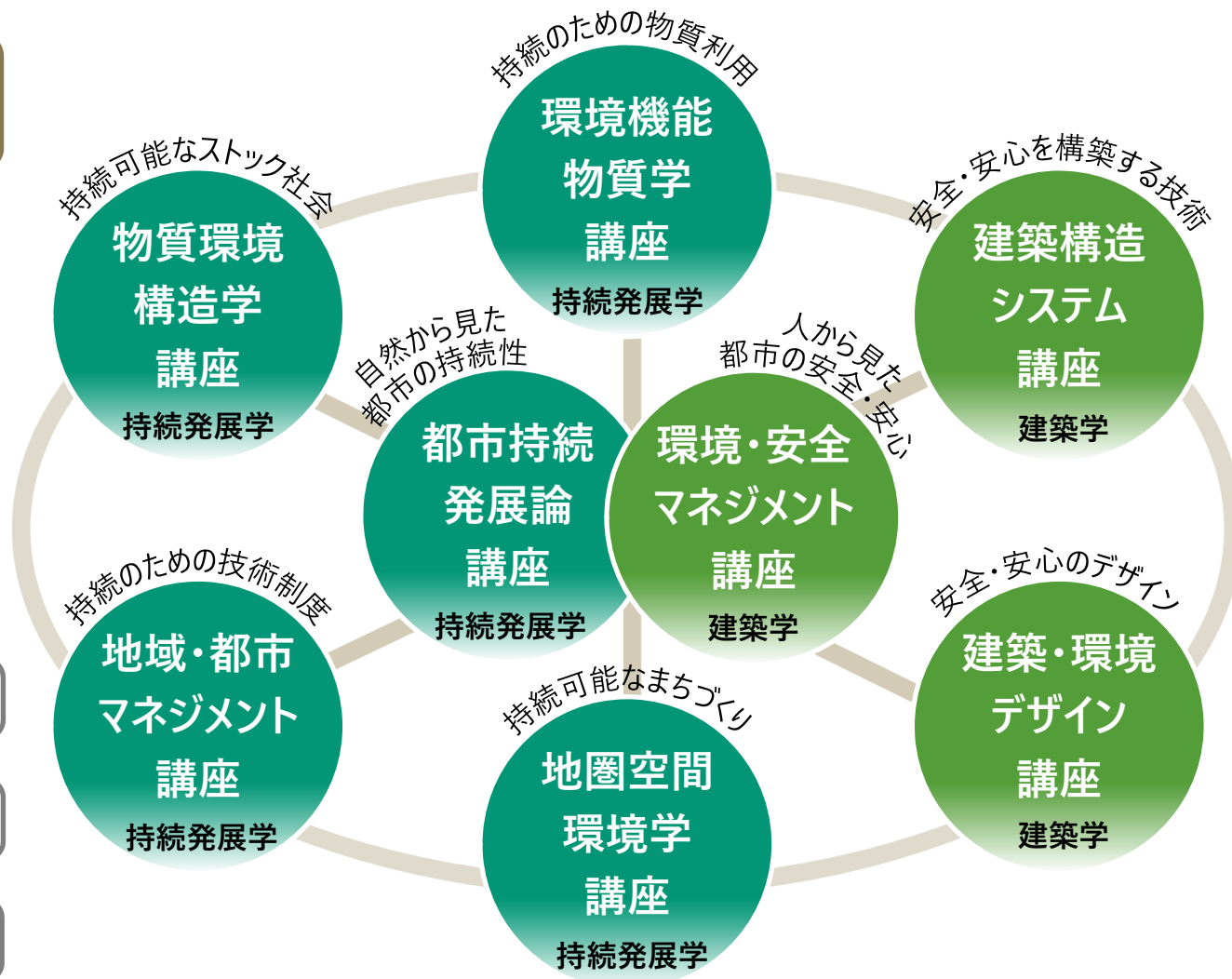
国際環境人材育成プログラム
(NUGELP)

持続発展学 コース

持続的共発展教育研究センター

未来社会創造機構

減災連携研究センター



建築学 コース

持続発展学コース教員

都市持続発展論講座

中村 英樹，加藤 博和^a，岩松 将一，
柿元 祐史^a，藤田 壮(客員)

環境機能物質学講座

日比野 高士^b，シンチェンコ アナトーリ，
長尾 征洋，片山 新太^f

物質環境構造学講座

谷川 寛樹，白川 博章，平山 修久^d，
一ノ瀬 俊明（客員），南齋 規介（客員），
藤井 実（客員）

地圏空間環境学講座

森 保宏^c，尾崎 文宣^c

地域・都市マネジメント講座

富田 孝史，森川 高行^e，井料 美帆，
田代 むつみ^e

下線は主指導教員となることができない教員

^a 持続的共発展教育研究センター専任，^b 持続的共発展教育研究センター兼任，^c 建築学コース兼任，^d 減災連携研究センター専任，^e 未来社会創造機構専任，^f 未来材料・システム研究所専任

学位・履修要件

	環境学 Environmental Studies	工学 Engineering
修士	合計 30 単位以上（研究科が認定する他研究科・大学の単位を含む） ・ 体系理解科目 8 単位以上 ・ 分野科目 20 単位以上 このうち、自専攻科目からⅡ類 8 単位以上を含む 14 単位以上	合計 30 単位以上（研究科が認定する他研究科・大学の単位を含む） ・ 体系理解科目 4 単位以上 ・ 分野科目 20 単位以上 このうち、自専攻科目からⅡ類 8 単位以上を含む 16 単位以上。うち、工学研究科授業科目、および自専攻科目の工学系科目が 4 単位以上
博士	後期課程の科目から 8 単位以上 （うち、他専攻の科目 2 単位以上）	後期課程の科目から 8 単位以上
いずれも研究指導必修（指導教員が開講するⅡ類セミナーを受講）		

教育：講義体系と科目の分類

環境学の体系的な理解
「体系理解科目」

研究科

「持続可能性と環境学」「低炭素都市学」
「環境学フィールドセミナー」「水の環境学」など

持続性学
安全安心学

専攻

地球

(他専攻科目)

都市

専門分野の深化，周辺領域の理解，
相互連携 「自専攻科目」

社会

(他専攻科目)

コース

建築学

持続発展学

周辺領域の理解・相互連携

専門

専門

工学研究科（土木工学ほか）・他研究科・国内外他大学

大学間交流・単位互換制度

インターンシップ・英語特別講義

分野科目の分類

- I 類：講義
- II 類：演習・セミナー
- III 類：実習

○ コースの組織構成

● カリキュラム・取得可能な学位

○ 教員・研究分野

○ 進路・就職先

○ 入学試験

7

系基盤科目， 英語開講科目

持続発展学コース基盤科目（自専攻科目，Ⅰ類）

都市環境総合プロジェクト

異分野討論，協働作業，課題発掘

英語開講科目

体系理解科目

低炭素都市学

途上国開発特論I/II

環境コミュニケーション

持続可能性と環境学

環境都市システム論

土木工学のフロンティア

交通システム分析

環境産業システム論

空間環境システム論

気候変動と社会基盤

交通工学特論

環境社会システム工学

NUGELP プログラム Certificate
制度も是非参照ください

○ コースの組織構成

● カリキュラム・取得可能な学位

○ 教員・研究分野

○ 進路・就職先

○ 入学試験

持続発展学コースの5領域

国土・都市・
モビリティデザイン

ストック型社会・
環境システム

持続発展学コース

Sustainable Development Course

土木・建築系教員と化学・情報系教員が参加。環境問題を幅広く研究・教育するため、今までの組織・学問領域の壁を破って生まれたグループ。

地圏環境・リスク
マネジメント

マテリアル・
エネルギーデザイン

情報マネジメント
社会システム

・ 環境問題やSDGsに関する幅広い知識と実践力を修得可能

・ 国際環境人材育成プログラム (NUGELP) が提供する、オール英語のカリキュラムを当コースで受講可能

国土・都市・モビリティデザイン

富田 孝史 教授

国土デザイン，防災・減災・強靱化

災害に強く持続可能な国土・地域の創生，地域機能継続マネジメント，防災・減災対策，津波・高潮



津波災害から復興中の海岸（チリ）

<http://www.urban.env.nagoya-u.ac.jp/sustain/Jindex.html>

加藤 博和 教授

都市・地域戦略，公共交通政策，環境評価，ライフサイクルアセスメント

発展途上国都市の Smart Growth, 成熟国都市の Smart Shrink, QOLにもとづく社会資本・都市空間の評価，地域公共交通再生



持続可能な都市

<http://orient.genv.nagoya-u.ac.jp/kato/jkato.htm>

国土・都市・モビリティデザイン

中村 英樹 教授
柿元 祐史 助教

交通工学，交通運用，都市交通政策，交通安全，道路計画設計

安全安心で魅力的なまちづくりのための道路空間と道路構造の計画・設計，交通事故の発生要因分析，渋滞発生予測，ラウンドアバウトの計画設計，信号交差点の設計・信号制御と安全性評価シミュレータの開発



ラウンドアバウト

<http://www.genv.nagoya-u.ac.jp/ge1/nakamura/>

森川 高行 教授
田代 むつみ 特任講師

交通計画，先進モビリティ，都市計画，消費者行動論

環境的に持続可能な都市交通政策（都心部自動車流入抑制，パークアンドライド促進，路面公共交通機関導入など），自動運転や Connected Car などの次世代交通システムに関する研究



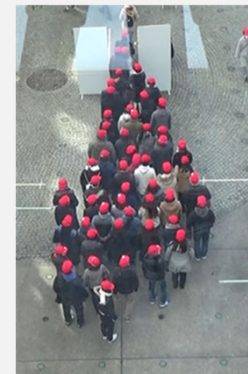
自動運転実証実験

www.trans.civil.nagoya-u.ac.jp/

井料 美帆 准教授

交通工学，交通計画

歩行者・車両交通流シミュレーション，歩行者交通流の特性分析，駅前広場の幾何構造条件に応じた利用者挙動特性の解明，利用者実態に即した歩行者信号制御のあり方の検討，交差点の安全性評価



歩行者の待ち行列形成方法観測実験

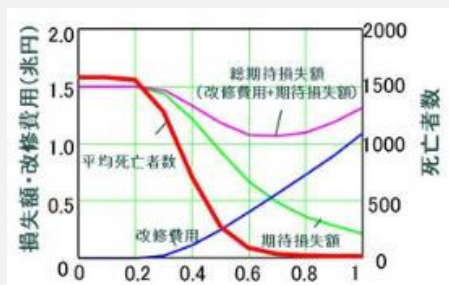
www.urban.env.nagoya-u.ac.jp/~m-iryo/index_j.html

地圏環境・リスクマネジメント

森 保宏 教授

建築構造工学，信頼性・リスク工学，
耐震工学

性能設計，都市全体の視点に立った実効ある
耐震化戦略，構造システムの信頼性評価手
法の開発



地震リスクと耐震改修効果

https://profs.provost.nagoya-u.ac.jp/html/100001851_ja.html

尾崎 文宣 准教授

建築構造工学，信頼性・リスク工学，
耐震工学

性能設計，都市全体の視点に立った実効ある
耐震化戦略，構造システムの信頼性評価手
法の開発



鋼材を用いた制振部材

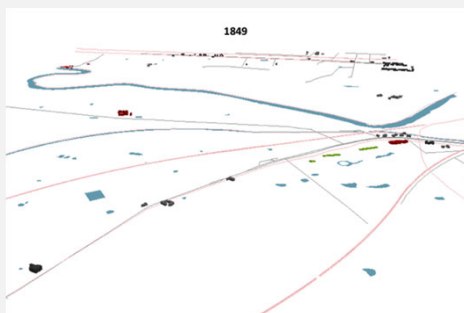
https://profs.provost.nagoya-u.ac.jp/html/100006993_ja.html

ストック型社会・環境システム

谷川 寛樹 教授
白川 博章 准教授

都市環境システム工学,
ストック型社会, 環境経済学

都市「重量」の計測と持続可能性,
循環型・低炭素・自然共生の三者
統合を実現するストック型社会,
マテリアルフロー・ストック分析

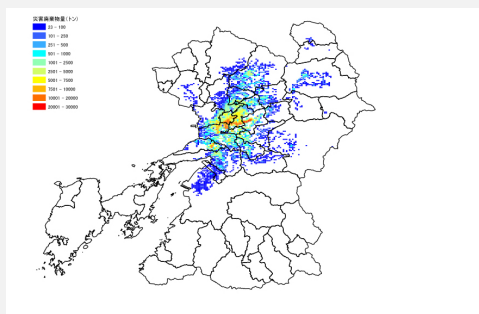


4d-GIS を用いた都市の変遷と
マテリアルフローストック分析

平山 修久 准教授
協力：減災連携研究センター

災害環境マネジメント学, 衛生工学

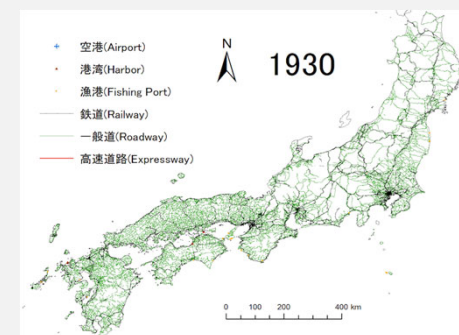
災害廃棄物量の把握システム, 災害
廃棄物の処理実行計画, 人口減少
社会における配水管網の再構成のあり
方



災害廃棄物量把握システムの構築

一ノ瀬 俊明 客員教授
南齋 規介 客員教授
藤井 実 客員教授
協力：国立環境研究所

低炭素都市施策, 地域循環圏形成,
都市熱配慮施策, アジア環境問題



国土全体での建設系ストック分析

<https://www.nies.go.jp/researchers/100241.html>
<https://www.nies.go.jp/researchers/100283.html>
<https://www.nies.go.jp/researchers/100228.html>

<https://www.urban.env.nagoya-u.ac.jp/ensap/index.html>

<https://hirayamalab.com/>

○ コースの組織構成

○ カリキュラム・取得可能な学位

● 教員・研究分野

○ 進路・就職先

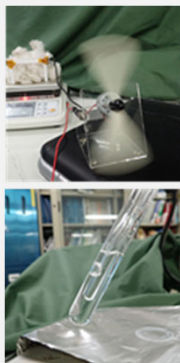
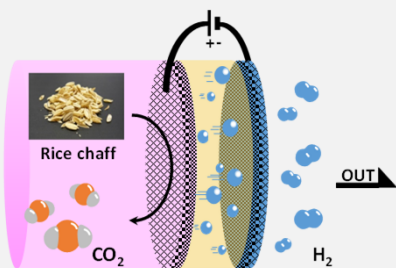
○ 入学試験 13

マテリアル・エネルギー デザイン

日比野 高士 教授
長尾 征洋 准教授

廃棄物再資源化，エネルギー，
水素製造，カーボンニュートラル

廃バイオマス・プラスチックからの水素製造と燃料電池発電，Carbon Dioxide Capture, Utilization, and Storage (CCUS)



バイオマスからの発電・水素製造

ジンチェンコ アナトーリ 准教授

環境資源化学，高分子材料化学，
バイオマテリアル，ナノテクノロジー

廃棄バイオマス・廃プラスチックの再資源化と材料化技術，水質浄化，環境負荷低減技術，ナノ材料・ナノ技術の開発

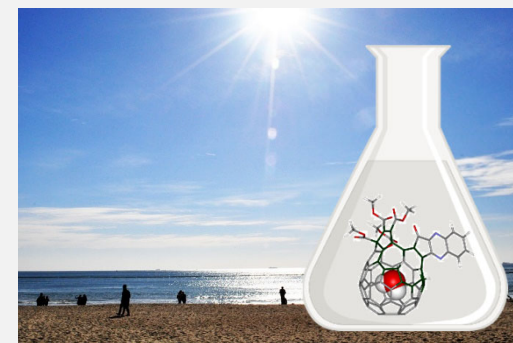


廃棄物の資源化

岩松 将一 准教授

持続可能なものづくり
有機合成化学，炭素系物質化学

難溶性化学物質の低負荷・低労力合成（つくる責任，SDGsゴール12），ナノカーボン類（特にフラーレン）の高度化学変換と改質



改質フラーレン + 可視光による物質変換

www.urban.env.nagoya-u.ac.jp/~hibino/index.html

www.urban.env.nagoya-u.ac.jp/suschem/indexj.html

www.urban.env.nagoya-u.ac.jp/iwmt/index.htm

○ コースの組織構成

○ カリキュラム・取得可能な学位

● 教員・研究分野

○ 進路・就職先

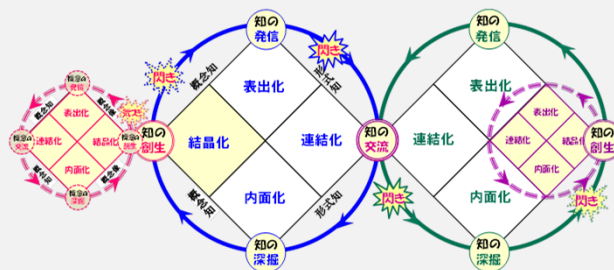
○ 入学試験 14

情報マネジメント・社会システム

栗本 英和 教授 *2021年度退職予定
協力：教養教育院

知と情報のマネジメント・システムの解析と設計

人工的な環境場や情報場におけるマネジメント・システムの解析と設計，教育学修や研究開発におけるプログラムの分析や質を確保する施策立案，社会的責任に資する Evidence based Policy Making



知と概念のフラクタル型共感SECIモデル

<http://www.info.human.nagoya-u.ac.jp/~kuri/pro.html>

最近の就職先の例（博士前期課程，順不同，略記）

官公庁

国土交通省，都道府県庁（愛知県，大阪府），市役所（小牧市，一宮市）

エネルギー・電気

中部電力，東邦ガス

運輸・交通

JR西日本，JR東日本，名鉄，東武鉄道，京王自動車，NEXCO西日本，愛知陸運

都市計画・開発

都市再生機構，建設技術研究所，大日本コンサルタント，三井不動産，日本工営，八千代エンジニアリング，パシフィックコンサルタンツ，玉野総合コンサルタント，日本水工設計，JR東海コンサルタンツ，大日本土木，テイコク，ダイセキ環境ソリューション

土木・建設

清水建設，竹中工務店，鹿島建設，大林組，西松建設，銭高組，セキスイハイム中部，櫻井木材

自動車関連

デンソー，日産自動車，トヨタテクニカルディベロップメント，三菱自動車工業，日産車体，岐阜車体工業，TIC

重機・製造

日立製作所，日立造船，三井造船，ジョンソンコントロールズ，JT，住友理工，村田製作所，フコク，三和油化工業，エステム，LIXIL，リンナイ，ライオン，セメダイン

金融・商社

東京海上日動，第一生命，第一実業，日本銀行，三菱東京UFJ銀行，JCB，大塚商会

情報・通信

NTT東日本・西日本，NTTデータ，NTTビジネスソリューションズ，パナソニックシステムソリューションズジャパン，三菱電機ビジネスシステム，オービック，ワンダープラネット，富士通，中日新聞，クニエ

その他

アカリク，岐阜大学産学連携コーディネーター，私立高校教諭，明成国際特許事務所，JAあいち経済連，地方競馬全国協会

大学院入試日程

入試募集要項に従うこと

コロナ臨時対応に注意

Ⅱ期入試

前期課程

- ・ 一般 2月10日(木)
- ・ 留学生 2月9日(水)
- ・ 社会人 1月27日(木)
～ 2月9日(水)のいずれか1日

後期課程

- ・ 一般 2月10日(木)
- ・ 留学生・社会人
1月27日(木)
～ 2月9日(水)のいずれか1日

- ・ 願書受付：1月4日(火)～7日(金)（簡易書留・速達書留郵便（最終日16時まで、必着）
- ・ 一般は対面，留学生・社会人はオンライン（注：コロナの状況により，変更がありうる）
- ・ 留学生特別選抜：「本研究科に在留資格『留学』で在学することができる者」（現在，日本の大学・大学院に在学する者も出願可能です），社会人特別選抜：「2022年3月31日までに2年以上の社会人（家事・家業従事者，退職者等を含む）としての経験を有する者」
※特別選抜の受験資格を有する場合も，一般選抜を選択することは可能です
※受験資格等の規定は，研究科により異なりますのでご注意ください

Ⅱ期入試（前期課程，一般選抜）

入試募集要項に従うこと

		2月10日		
		9:30 - 11:30	13:00 - 14:00	16:30 -
一般 (対面)	英語 (300点) TOEFL / TOEIC / IELTS のスコア	専門科目 (500点) ・環境工学・環境政策 (3) ・環境化学 (2) ・構造工学 (2) ・計画学 (2) から任意に 3 問解答	小論文 (200点) ・ 1 問解答	面接 (配点無) ・ 合否判定の参考とする

Ⅱ期・Ⅰ期Aの過去の問題：http://www.env.nagoya-u.ac.jp/admission/design_exam.html（研究科HP）

※ Ⅱ期とⅠ期Aは，専門科目の出題内容（分野）が異なる。過去問等を参考にする際は注意すること。

英語試験

- ・ 英語外部スコアによる点数換算（出願時の提出を推奨，試験当日の提出もしくは差し替え可）
- ・ スコア有効期限：2020年2月1日以降に受験

Ⅱ期入試（前期課程，留学生・社会人）

入試募集要項に従うこと

			2月9日（※個別実施，約30分）
留学生特別 （オンライン）	英語（300点） ・ TOEFL / TOEIC / IELTS のスコア	書類審査（200点） ・ 学業成績，志願理由書 ・ エッセイ など	専門科目（500点） ・ 「環境工学・政策」，「環境化学」，「構造工学」，「計画学」から3問解答（口頭）
			1月27日～2月9日 （※個別実施，約30分）
社会人特別 （オンライン）	英語（300点） ・ TOEFL / TOEIC / IELTS のスコア	書類審査（200点） ・ 学業成績，志願理由書 ・ エッセイ など	口述試験（500点） ・ 社会で培った学識 ・ 志望動機，研究・学修計画など

英語試験

（留学生・社会人とも）希望指導教員の受験内諾要，「エッセイ」「受賞歴・発表論文リスト，業績書等」出願時提出要

- ・ 英語外部スコアによる点数換算（出願時の提出を推奨，試験当日の提出もしくは差し替え可）
- ・ スコア有効期限：2020年2月1日以降に受験

Ⅱ期入試（後期課程）

入試募集要項に従うこと

（後期出願者全員）希望指導教員の受験内諾要

		2月10日		
		9:30 - 11:30	13:00 - 16:00	16:30 -
一般 （対面）	英語 (300点) TOEFL / TOEIC / IELTS のスコア	専門科目 (500点) ・ 指導希望教員と事前に 相談の上、3分野設定	口述試験 (200点) ・ 専門科目の内容および それに関わる学識	面接 (配点無) ・ 合否判定の参考とする
		1月27日～2月9日 （※個別実施、約30分）		
留学生特別 （オンライン）	英語 (300点) TOEFL / TOEIC / IELTS のスコア	書類審査 (200点) ・ 学業成績 ・ 志願理由書 ・ 研究計画書など	専門科目（留）or 口述試験（社） (500点) ・ 専門科目（3分野）の学識（留学生） ・ 社会で培った学識（社会人） ・ 志望動機，研究・学修計画など	
社会人特別 （オンライン）				

（留学生・社会人のみ）「研究計画書」，「受賞歴・発表論文リスト，業績書等」出願時提出要

入学可能者数，過去3年間の合格実績（前期課程）

入学可能者数

前期課程
持続発展学コースで
33名程度

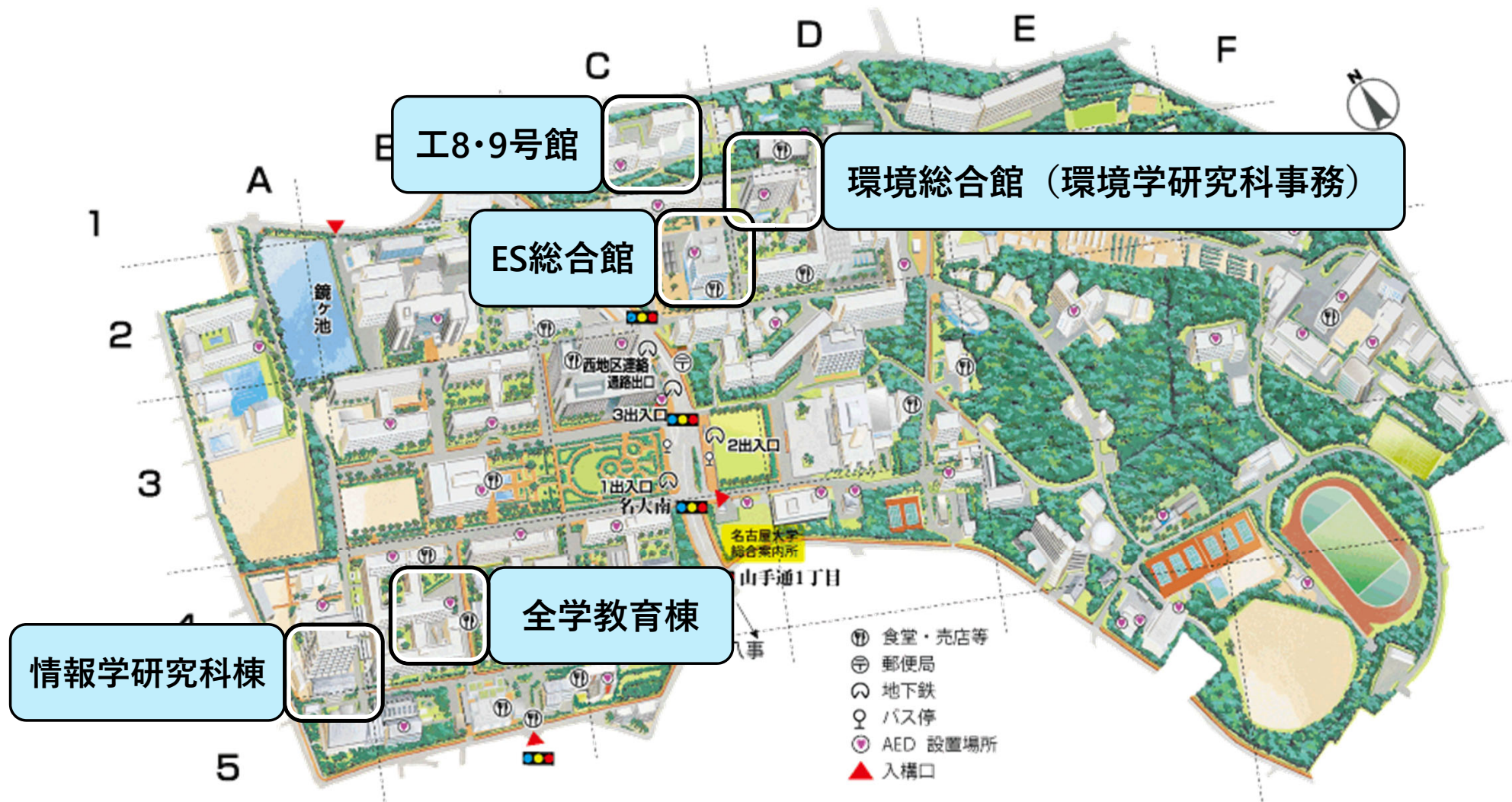
後期課程
都市環境学専攻全体
21名程度

- ・他大学や本学他学部の学生が多数入学
- ・出身大学・分野とも様々（医学部以外ほぼすべて）
- ・本コースに興味がある人であれば，受けやすい制度にしています

2019年度（平成31）			2020年度（令和2）			2021年度（令和3）		
区分	受験者	合格者	区分	受験者	合格者	区分	受験者	合格者
I期A	9	8	I期A	5	3	I期A	4 + 秋	4 + 秋
I期B	13	12	I期B	8	6	I期C	9	9
I期B*	—	3	I期B*	—	1	I期C*		
II期	11	7	II期	7	4	II期	7	5
合計	33	30	合計	20	14	合計	20 + 秋	18 + 秋

* は建築学系を志望する学生が第2志望で合格したケース（注：コロナ臨時対応に伴い，2022年度入試では実施しない）

研究室の配置



持続発展学コースの詳しい情報

持続発展学系



名古屋大学 大学院環境学研究科 都市環境学専攻 持続発展学コース

<http://www.urban.env.nagoya-u.ac.jp/Jindex.html>

入試情報

<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/admission/index.html> (研究科, コロナ対応情報)

<http://www.urban.env.nagoya-u.ac.jp/exam/exam.html> (持続発展学コース)

問い合わせ先

wwwadmin@urban.env.nagoya-u.ac.jp

指導希望教員へ直接連絡することをお勧めします！